



会報

発行年月日 平成18年5月1日
発行人 会長 青木 宏
編集者 沖原 玉章
日本指圧専門学校同窓会
東京都文京区小石川2-15-6
〒112-0002 TEL 03-3813-7354
題字 山内 貞四郎

同窓会員と運営委員の連絡のハイプ

日本指圧専門学校同窓会会長

青木 宏



二〇〇五年は、浪越徳治郎先生生誕百年にふさわしい年になりました。

生誕百年を記念して、同窓会としては、二〇〇五年五月に会報第二十六号を発行し、「浪越徳治郎生誕百年を祝う会」に、同窓会員の参加を呼びかけると共に、「生誕百年記念特集」に七頁をさき好評を得ました。同じ五月、生誕百年を記念して、平成十七年版『同窓会会員名簿』を発刊しました。十四年振りの発刊で、その間の空白を埋めるのは容易な作業ではありませんでしたが、多くの会員の皆さんの協力のおかげで、発行することが出来ました。改めてお礼申し上げます。

十七年版の発刊にむけて努力したことが、

十一月三日の「浪越徳治郎生誕百年を祝う会」に、同窓会員の出席を呼びかけ易くなり、会の成功に大いに貢献出来たと自負しております。

二〇〇五年を目指して、二〇〇二年に始めた「浪越徳治郎杯争奪芸能大会」は、毎年二月十一日の学校創立記念日に開催し、二〇〇五年まで計四回、その都度、優勝一名、準優勝二名を決めてきました。優勝者には生誕百年を祝う会で、自慢ののどを披露してもらいました。

年が明けて、二〇〇六年の二月十一日には、これまでの優勝者、準優勝者で競うグランドチャンピオン大会が開催されました。白熱した演技が続ぎ、一位、二位、三位が決まり、五年に亘った浪越徳治郎杯争奪芸能大会の幕が閉じた次第です。

徳治郎先生の生誕百年にまつわる行事、事業が終了、一段落したところで、今後の同窓会活動について一言ふれてみたいと思います。

同窓会には運営委員会があり、各卒業期毎に二～五名選出して、本会の運営に当つ

ていただいております。具体的には、運営委員会は総会に次ぐ決議機関ですが、同時に行事を行うときは出来るだけ参加して、ときには運営に手を貸したり、同期の会員に参加するよう呼びかける任務があります。運営委員会に出席するだけでもご苦勞なことではありますが、同期の会員に連絡をとる努力が欠けているのではないのでしょうか。このことを実行することは、大変な仕事だと思えます。そんなことを義務づけられるのなら、運営委員は引き受けられないという人がいるかもしれません。連絡は少数の運営委員だけでやるのではなく、少くともクラス単位で手分けしてするなど、機能する手段方法を工夫すべきだと思います。

そうでなければ、同窓会がどんな企画をたてても参加する人はいつも同じ顔ぶれ、参加しない人はいつも不参加といった状態が変わらないのではないのでしょうか。

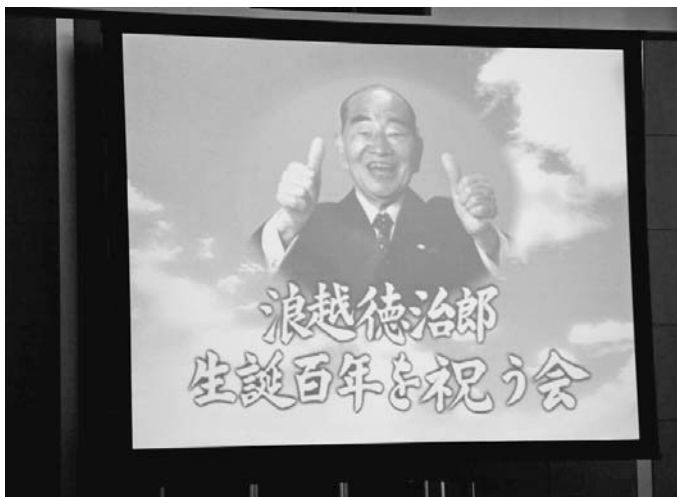
現状改革には、運営委員の皆さんの協力が必要です。ご協力のほど宜しくお願いします。

浪越徳治郎生誕百年を祝う会

秋晴れの平成十七年十一月三日、東京文京区の東京ドームホテル、天空の間に於いて「浪越徳治郎 生誕百年を祝う会」が催されました。当日は、日本各地はもちろんのこと、世界十ヶ国より約五百六十名のお客様がお見えになり浪越徳治郎先生の生誕祭をお祝いしました。

巨大スクリーンに「指圧

のこころ母のこころおせば生命の泉湧く」のスローガンを元気に唱える徳治郎先生の姿が映し出され、祝う会第一部がスタートしました。先ず、神田紅師匠による講演「浪越徳治郎一代記」が披露されました。お囃子にのって神田紅師匠が壇上に姿を現すと会場は一気に華やいだ雰囲気になり、徳治郎先生の生い立ちから、青



スクリーンに映し出される浪越徳治郎先生



日本全国、世界各国から大集合

時のエピソードと、徳治郎先生の好きだった「北国の春」を草笛で披露されました。その後、徳治郎先生を東京のお父さんと呼び、親交の深かった佐渡ヶ嶽親方（元横綱琴櫻）から、徳治郎先生との思い出とお祝いのお手紙が映像

を交えて披露されました。祝う会当日は、海外から大勢のお客様が日本にお見えになりました。斉藤健泉先生（カナダ）、池永清先生（カナダ）、浦川杏子先生（オーストラリア）、陳美玉先生（台湾）、因泥文彦先生（アメリカハワイ）、ロベルト・タベルナ先生（イタリア）、小野田茂先生（スペイン）、アンネマリエ・フレイ先生（スイス）、シルビア・スターバント・ピンクス先生（オランダ）、グラシエラ・ジョルジエツティー先生（アルゼンチン）、高光哲先生（韓国）、ロジェリオ・モッティー先生（ポルトガル）をはじめ、

年時代そして指圧学院の立ち上げなど徳治郎先生の生涯を見事に綴り会場からは割れんばかりの拍手が起きました。

次いで、石塚寛祝う会実行委員長から開会の挨拶がありました。その後、浪越和民祝う会会長が、参列されたお客様に対してお礼を述べられました。煙山力文京区長は、お祝いの言葉とともに徳治郎先生の偉大さを讃えられました。

会場のスクリーンに昭和四十三年頃の「アフタヌーンショー」の懐かしい映像が流されると、ご存じ桂小金治師匠の登場です。放映

国際指圧協会員百二十七名の皆様から駆けつけてくださいました。山岡祥宏日本指圧協会理事、青木宏同窓会会長が祝辞を述べられた後、スクリーンでは当日列席できなかった方々からの電報が読み上げられました。

第二部では、B & Bの漫才で会場が爆笑の渦に巻き込まれました。次いで、歌手の佳山明生さんがヒット曲「氷雨」を歌い上げ、徳治郎先生との楽しい思い出をお話しされました。その後、二部のメインイベントである「徳治郎杯芸能大会」歴代優勝者四組の歌、見事な歌唱力で生誕祭は徐々に盛り上がりつつありました。そして、佳山明生さんが中心になり世界各国の皆様が壇上で、「ウィーアーザワールド」を大合唱しました。会場が

一体となり参加者全員で徳治郎先生の生誕百年をお祝っている雰囲気でした。徳治郎先生が常々おっしゃっていた「指圧で世界の平和を！(The peace of the world is the Shiatsumi)」という言葉を実感した瞬間でした。

その後、小林秋朝祝う会事務局長より閉会の挨拶があり、参加された皆様にお礼を述べられました。最後に、指圧のスローガン「指圧の心母のこころ おせば生命の泉湧く」を皆で唱和し、盛大な生誕祭は閉会いたしました。



ウィーアーザワールドを皆で合唱

生誕百年祭報告、御礼

学校法人浪越学園 理事長 浪越和民



父、浪越徳治郎は自身の米寿祝賀会(平成四年十一月三日)の数日後、米寿祝も無事盛大に終わってホッとひと息ついたところ次は百歳のお祝いです。どうぞよろしく」と百歳の誕生日を迎えることを心から望んでおりましたが、残念ながら元気で迎えることはできませんでした。しかし、その遺志を継いで晴天に恵まれた平成十七年十一月三日「浪越徳治郎生誕百年を祝う会」が東京ドームホテル「天空の間」において、海外から十一カ国百二十余名を含む五百六十名の方々に参加いただき開催されました。

講師・神田 紅師匠による「講談・浪越徳治郎一代記」が演じられる中で開宴したこの会も、故人と大変ゆかりの深い元テレビ朝

日アナウンサー部長棟方宏一氏の司会に引き継がれ、松本真由美氏の通訳を交え進められました。式では実行委員長、石塚寛校長の開会の辞、実行委員会会長としての私の挨拶、煙山 力文京区長の来賓代表として挨拶など滞りなく進みました。特に煙山区長の挨拶は浪越徳治郎のありし日を彷彿させるもので私は勿論、参加者全員に深い感動を与えてくれるものでした。

会は友人代表の桂 小金治師匠の音頭で杯を上げ、祝宴が開始されました。祝宴の中、各国代表者が紹介され、続いて日本指圧協会、山岡祥宏理事長、日本指圧専門学校同窓会、青木宏会長の祝辞や挨拶があり、アトラクションに移りました。

人気漫才師B & B氏は「浪越徳治郎と島田洋七氏のガバイばあちゃん」を絡めた漫才を披露、佳山明生氏が自身の歌を、さらに同窓会主催の浪越徳治郎杯争奪芸能大会の歴代優勝者四名がブロンズ賞の歌を披露するなど、和やかなうちに

会は進行していききました。会が佳境に入った頃、ステージに続々と人が上がり、肩を組み、手を取り合い、会場の参加者がひとつの輪になり、「We are the world」を合唱し、名残を惜しみつつ、小林秋朝実行委員長の開会の辞で閉幕いたしました。

このように大勢の方々のご出席をいただき大成功に

平成十七年度通常総会内容

日本指圧専門学校同窓会の平成十七年度通常総会が平成17年6月12日(日)、茗荷谷の茗溪会館にて開催されました。

出席者は在校生を含め、百四十余名。定刻10時、同窓生物故者に対し黙祷が捧げられた後、総会が開始されました。後藤和江副会長の開会の挨拶、君が代斉唱の後、青木宏会長の挨拶と続き、浪越和民名譽顧問、石塚寛名誉会長から「ご祝辞をいただきました。」

議長団の選出が行われ、議事に入りました。

- 平成16年度事業報告及び決算報告、監査報告
- 平成17年度事業計画及び予算案

終わることができましたのも、偏に日本指圧専門学校同窓会および日本指圧協会、実行委員会の皆様方、そして浪越徳治郎の今日を尽くして下さいました同志の皆様のご協力、ご努力の賜と心より感謝申し上げますと共に、改めて指圧道の益々の発展のため邁進することを誓つてあります。

役員改選に関する件が、全員の拍手により賛同承認されました(新体制は別掲)。

その後、「指圧と保険の取り扱い」と題して、パネルディスカッションが行われました。コーディネーターは内城勇造副会長、パネラーとして川原善次郎副会長、佐藤一美日本指圧協会副理事長、横川純夫新幹事長の三名。

懇親会では、歓談が続くなか第4回浪越徳治郎杯争奪芸能大会の優勝者「田中達也と愉快な仲間たち」(アカペラ)、準優勝の「金子泰隆・金子智久のギターデュオ」が披露されました。最後に校歌斉唱、鈴木林三

副会長によるあいさつで閉会となりました。

なお、平成17年度事業計画として、第一回指圧実技講習会の実施、浪越徳治郎杯争奪芸能大会の開催、浪越徳治郎生誕百年を祝う会の協賛が承認されました。



役員自己紹介



副会長 章
沖原 玉章 (34期)

前期は副幹事をさせて頂いたのですが、この度副会長の重任を拝することになりました。どうぞよろしくお願い致します。

同窓会と本格的に関わり合い始めたこの三年間、同窓会員の皆さまの温かいご支援に支えられた同会を運営側からじっと見てまいりました。そのご支援の核心には、故・浪越徳治郎先生への同窓生の思慕の念があるのでしょうか。または指圧に魅せられた皆さんの感謝の気持ちが表されているのでしょうか。ともかくにも、その温かい皆さんの心を感じての三年間でした。本当にありがとうございます。

人の才能を生かさせてあげたい。その方たちを含め多くの同窓生が、少しでも同窓会活動への理解を深め、この会員相互の親睦が自身の成長の糧になることを感じ取れるような同会を目指したい。これが私の偽らざる気持ちです。



長事 純 夫
横川 純夫 (39期)

ある哲人の次のような言葉があります。「正しき生き方とは大自然によって自分自身が生かされていることへの『報恩』と『感謝』の限りなき呼吸ではないだろうか」

今後とも、微力ながら全力を尽くしてまいりますので、よろしくお願致します。

幹事に就任して

青木会長からの手紙をいただき母校でお会いして指名の理由、会長の会に対する思いを伺ったのが五月十日、帰る頃にお受けすることで総会に臨む決心が出来ていました。

卒業後、正副幹事に就任した同期の大西、柴田両氏が活躍している間、私の方は中国上海にいて日本を留守にしていた関係で「帰国したからには、少し手伝えよ!」といわれていた事もあり、東洋医学発祥の中国大陸で生活して、日本の中国医学への憧れと誤解ゆえに歪められている、指圧に対する功罪を感じると共に浪越徳治郎先生の偉大さと母校への感謝の気持ちが高揚していた時でもありました。



副幹事 長 純 一
黒沢 純一 (40期)

このたび、日本指圧専門学校同窓会の副幹事に任命されました、四十期生の黒沢純一です。

私は、この四月で指圧学校に入学してから満十年になります。ということは、同窓会との付き合いも準会員だった学生時代を合わせると十年となるわけです。あつという間の十年間で、その間に、教員となり同窓会の役員となつたわけですが、今までは実際に役員として働いている実感は乏しく、多くの諸先輩方

をお手伝いすることがやっとでした。今回、副幹事という役を任せつかつたわけですが、これを機に今まで学ばせていただいたことを糧にし、積極的に同窓会の運営に携わっていく気持ちであります。

さて私、副幹事をやらせていただいているかたわら、今皆さんがご覧になっている同窓会報誌の編集委員という顔も持つております。会報に対するご意見や文章を掲載して欲しいというご希望など随時受け付けております。また卒業後、情報交換の場としてもご利用ください。指圧学校同窓生の、同窓生による、同窓生のための会報誌です。皆様の参加を心よりお待ちしております。



会計委員 子
荷田 牙子 (43期)

会計委員になつて

私はこの度、会計委員になりました四十三期の荷田と申します。よろしくお願ひ申しあげます。

行事に参加してはありましたが、まさか私が会計という大役を任せつかると思つてもみませんでした。最近の同窓会行事は卒業後間もない期の方の参加も多く、大先輩方とのよき交流の場になつていっている様に思います。



監査委員 市 芳
柴田 芳市 (39期)

会計の仕事というのは、私にとって初めてのため、不慣れな事も多いと思いますが、「明朗会計」をモットーに、また自身にとつての新たなチャレンジとして頑張つていきたいと思つておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

三十九期生の柴田です。この度、青木会長をはじめ皆様のご推挙により、監査委員をお引受けすることになりました。四捨五入すると八十になります現在、脳の方もだんだん怪しくなつて来ておりますが、多少は社会経験も経て来ておりますので、何かお役に立つことがあればと思つております。指圧以外のことなら何なりとお声をかけて下さい。



会則委員 藤野 芳郎 (43期)

典型的な企業人間として 永年過ごして来た私が浪越 指圧をやるうと考えた理由 は二つあります。一つは家 内が指圧を受けることが好 きだったこと。そこで会社 生活が終つたら指圧をやる うと思つたのです。家内は 戦前中国の天津にいた頃指 圧を受ける母親について行 き、自分も指圧を受け気持 が良かったと言います。又 学校時代の友人、藤田香織 さん(浪越指圧の原田寛代 範士、昭六十年歿に家庭指 圧を習つた)から指圧を受 けていたことで、何となく 指圧を習うなら浪越指圧が 良いと思つたのです。理由 の二つ目は、第二の人生は 基本的にボランティア活動 で過ごしたい。その為には 指圧が良いと思つたのです。 ボランティア活動と雖も財 政的な裏付けがなければ長 く続けられません。指圧に よつて、サムマナー”を受

け、活動を続けようとした のです。然しこれによつて 必要以上に利することはし ないと決めました。

現在、開業して五年経ち、 私の拙い指圧でも多くの 方々に喜ばれ、有り難いこ とだと思つています。技術 的に私の指圧は、鈴木林三 先生に教えて頂いた基本指 圧と、小林福二先生に教え て頂いた按摩が中心で、そ の上に独自のクリエイティ ブな指圧が出来ればと願つ ています。

そのクリエイティブなも のが何か。それを追つのが これからの私の夢でもあり ます。



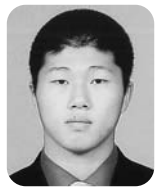
委員 雄和 渡 (45期) 書記

こんにちは。このたび、 書記委員に就かせていただ きました四十五期の渡邊と 申します。同窓会は、文字 通り同窓生のみなさんのお 力で成り立っております。 諸先輩方を差し置いてこん

な重要な委員を任せられたこ とに感謝しております。 近年、連絡がつかなく なつてしまつた方が多いそ うです。また、こちらから 連絡をしても返事を頂けな い方も増えています。昨年 盛大に行われました「徳治 郎生誕百年を祝う会」にお きまして、四千名以上の 同窓生に出欠席の問い合わせ をしました。そのうち四 分の三の三千名からは残念 ながら返信をして頂けませ んでした。

それが他と比べて多いの が少ないのはわかりませ ん。心の中ではもっととい ばいザクザクと返信されて くるものと思つていたので 残念に思いました。

同窓会の書記委員でみな さんに会合等のお知らせを お送りしますので、ご返信 よろしく願ひします。不 慣れな点も多々ありますが、 仲間と助け合つてやつてい こうと思ひます。みなさん にお会いできる日を楽しみ にしています。



委員 石塚 洋之 (45期) 書記

この度は同窓会書記委員 に指名されました、四十五 期卒業の石塚洋之と申しま す。同窓会という組織がど のような活動をしていて、 どのような事をしてい るのか正直私は知りませんでし た。同窓会に私が参加する 以前の同窓会に対するイ メージは、ただ旧友と会つ てお話しするだけのイメー ジで、このイメージは私だ けでなく多くの方が抱いて いると思ひます。そのよう なイメージの中、私が初め て参加した同窓会は、同窓 会主催の鈴木林三先生の基 本指圧講習会でした。その 講習会に集まつた方々の熱 心さに感動しました。又、 各期の方々の交流によつ て、講習会とプラスアル ファの知識を得ることが出 来ました。私は卒業してま だわずかに二年しかたつて おらず、臨床経験の足りな い私にとつて先輩方々の臨

床に対するアドバイス、開 業に向けてのプロセスと豊 富なアドバイスを頂くこと ができました。私は同窓会 というものが、ただ懐かし い旧友と会うだけではなく、 自分自身を磨き、そして高 めることの出来る場である と感じました。講習会の打 ち上げでは、同じ指圧師と しての共通の話題に花を咲 かせ、そこでもさらに諸先 輩方と親しくなりました。

このように同窓会は実際素 晴らしいものでした。一度 でも参加すればその素晴ら しさも理解できますので、 当初私自身も抱いていた同 窓会に対するイメージを多 くの人に伝えていただきた いです。多くの同窓生たち に同窓会の楽しさ、そして 必要性をこの書記委員を通 して、同窓会に貢献し、よ り多くの人たちが参加した くなる同窓会にしていきたく ないと考えます。まだまだ、 わからないことが多くある とは思ひますが、今後とも よろしく願ひいたします。

日本指圧専門学校 同窓会役員 名簿

役職	氏名	期
会長	青木 宏	19
副会長	鈴木 林三	8
副会長	後藤 和江	19
副会長	川原善次郎	27
副会長	内城 勇造	27
副会長	沖原 玉章	34
幹事長	横川 純夫	39
副幹事長	黒沢 純一	40
会計委員	高橋 雄輔	42
会計委員	荷田 冴子	43
監査委員	田澤千代子	34
監査委員	柴田 芳市	39
会則委員	藤田 一彦	20
会則委員	藤野 芳郎	43
会報委員	沖原 玉章	34
会報委員	黒沢 純一	40
会報委員	金子 智久	41
会報委員	廣瀬 直子	43
書記委員	石黒 克樹	41
書記委員	渡邊 和雄	45
書記委員	石塚 洋之	45
名簿委員	神田 浩士	42
名簿委員	金子 泰隆	42

第一回 指圧実技講習会

平成17年8月21日(日)

日本指圧専門学校5階第1実技室にて第1回指圧実技講習会が開催されました。同窓会副会長である鈴木林三先生を講師にお迎えし講習会は午前の部は9時半から午後部の部は13時半からと2部制で行われ、同窓生と在学生を合わせ午前部は42名、午後部の部は43名とそれぞれ定員40名を超える大盛況の講習会となりました。実技室いっぱいマツト

が引き詰められた会場にて、青木宏同窓会長挨拶のあと講習会がスタートしました。鈴木林三先生が「何故、基本指圧なのか」基本指圧とは浪越徳治郎先生がその臨床の中で特に大切なところを残し、簡略化、そして集大成したものと解かれました。したがって基本指圧即臨床指圧になりうるのです。また、一部の限られた人の特殊な技術ではなく治療効果を出せるようにならなければ、世の中で浪越指圧が本当に認められるという事にはならないんだと。穏やかな口調で申されました。指が出来て伏臥位の肩甲下部が力を抜いて圧せる様になれば肩甲下部が基本であることが理解できます。鈴木林三先生がこのように講義された後、実技にはいりました。デモンストレーションの後、鈴木林三先生は一人一人の手とり足とり圧の方向を丁寧に示唆されていきました。力を抜いて指圧をすることにより無理のない圧が身体に響きあうという光景は感覚の世界ではありますが確かに受講者の中に存在しておりその表情に現れていました。最後に行われた質疑応答においても「基本指圧だけで臨床を進めていくことは不安である」と質問をした若い期の同窓生に対しても基本指圧を無理に押し進めることなく時間をかけて指作りから始めていくように助言されました。こうして同窓会主催による指圧講習会が鈴木林三先生をお迎えして第一回目を無事終了することができました。関係者の諸先生方ご協力ありがとうございました。書記局

同窓会研修会タイムスケジュール
午前の部
9時半受付
10時～10時15分 開会 青木宏会長挨拶
10時15分～12時10分 鈴木林三先生による重点目標の解説
実技指導
12時10分～12時30分



質疑応答

閉会
川原善次郎副会長挨拶

午後部の部
13時半受付
14時～14時15分 開会 青木宏会長挨拶
14時15分～16時10分 鈴木林三先生による重点目標の解説
実技指導
16時10分～16時30分 質疑応答
閉会
川原善次郎副会長挨拶

第十九回 四期会 二泊三日奥利根の旅

四期 永山 琶奈子

今年(平成十七年)の旅は、群馬県水上高原八二〇m、奥利根の宿へ行っただ。四月十日、十時半、定員二十名のホテルサンバードの送迎バスに八名乗り、楽々走っていった。宿先で一名参加することとなった。

バスからは、関越道の両沿道にピンクの桜や、連翹の黄色、辛夷の白を望むことができた。十二時、広い利根川土手と敷島公園で桜とバラ見物。日曜日とあり、道路端のタコ焼きの立ち食いも出来ないほど大変な混雑であった。近くを散策後、洒落た「カフェテラスパラ・ばら」に全員落ち着いた。数匹の熊の木彫と厚い一枚板のテーブルで、熱々の焼きカレーにコーヒ、クリームのデザートを戴き、好運のひと時でした。

十四時、昼食処を後にし、後方より列をなす車が、不法駐車に道を遮られ、石原先生、俄か添乗員役で三十分遅れて出発、ドライバーマナーの悪さを痛感した。前橋辺りは製材所、木工所、こんにゃくの看板が目立つ。



愈々登り坂、赤城トンネル、永井川辺りは開花前トンネル二つ通過する。三時過ぎ、右手に雪の谷川連峰、水上町に入ると一面の雪、左手眼下に藤原ダム、右手に水上高原プリンスホテルの看板、除雪で積もった両側の雪壁が次々に目に入る。中村氏運転で、カーブの坂道を一時間、無事玄関に横付けた。鉄筋五階建て、収容人員五百名、目前がゲレンデという便利さから、正月がピークとの事。リフトが左右二台、上級コース一台等、全山純白の雪山に、落葉した白樺の黒い幹の林が水墨画の観。この宿の自慢

は十三室有る別館の有料露天風呂で床暖房仕様の豪華な部屋でした。二日目の朝、坂を下り、三国街道二十五軒の民芸調建築「たくみの里」めぐりを一時間見学。梅の紅白の古木、福寿草、三つ又の花等静かな通りでした。十二時宿で昼食、六時宴会、八時部屋で指圧の自由時間と和やかに過ごした。

三日目の朝は気温十度台と寒く、水カロンのお出まし。霧雨の中十時出発、一〇〇〇m山の弥勒寺を参拝し、大小様々な赤い天狗の面に仰天した。視界零の高速度道を暖房の効いた車中で山川先生心遣いの鱒魚の昼食に一同感激した。車中での謎解きでは六十代の那須先生の一人舞台。都内に入るまで小雨が続く、四時過ぎに無事到着した。今回は桜、梅、雪に接した得難い旅でした。

根岸先生他、御世話頂いた先生方にお礼申し上げます。今年四十八回卒業の皆様の前途と、指圧道発展を祈念申し上げます。

浪越徳治郎杯争奪芸能大会

ー グランドチャンピオン大会 ー



来賓を含め、総勢四十四名が期待を膨らます中、午前十時半、同窓会会長青木宏先生により開会宣言。理事長浪越和民先生、校長石塚寛先生、協会理事長山岡祥宏先生から「指圧は芸術である」という言葉通り指圧師の芸術大会である。歌

平成十八年二月十一日(土・祝)文京区茗溪会館において、浪越徳治郎杯争奪芸能大会グランドチャンピオン大会が盛大に開催されました。

第一回から第四回までの優勝者、準優勝者が一挙集結し、グランドチャンピオンを競いあうということ、出演者十組の顔からは、興奮と緊張が漲っていた。



の民謡「刈干切歌」。ピブライトのきいた歌声で、審査員を唸らせた。三番手は二十七期川原善次郎先生の演歌「風雪ながれ旅」。♪アイヤー アイヤー 留萌 滝川 稚内♪と歌い上げた。続いては、唯一学生の出場四十八期田中達也と愉快な仲間たちのアカペラ「上を向いて歩こう」。美しいハーモニーに加え、創作詩

母心バージョンとして会場を沸かせた。中盤に差し掛かり、五番手は四十四期岩城俊生先生の歌謡曲「さくら(独唱)」。見事なまでの高音で歌われた。六番手は三十四期塩野泰利先生の映画音楽「UNCHAINED MELODY」。会場全体が映画の中にいるような甘い雰囲気包まれた。続く七番手は二十四期高野昇司先生の歌謡曲「前橋ブルース」。前橋のこの地ソングを感情込めて歌われた。八番手は十九期池永卓雄先生のカンツォーネ「SOLE MIO」。ゆるやかなリズムにイタリア語がマッチしていた。

第一位 塩野泰利先生 映画音楽「UNCHAINED MELODY」
第二位 岡本五郎先生 民謡「刈干切歌」
第三位 後藤和江先生 民謡「磯原節」
特別賞 田中達也と愉快な仲間たち



を盛り上げた。おおとりは、二十四期松本輝雄先生の歌謡曲「昴」。とり に相応しい伸びやかで 壮大な歌声でした。全十組の 演目の終了とともに、緊張から和やかな雰囲気になり、昼食。佐藤 玄祥審査委員長をはじめ五名の審査員により、厳正な審査が行われた。グランドチャンピオン大会の受賞者はつぎの通り。

第一位 塩野泰利先生 映画音楽「UNCHAINED MELODY」
第二位 岡本五郎先生 民謡「刈干切歌」
第三位 後藤和江先生 民謡「磯原節」
特別賞 田中達也と愉快な仲間たち

アカペラ「上を向いて歩こう」
甲乙つけがたい混戦を極めた中、優勝された塩野先生が、吉幾三の「酔歌」で再度フィリピンパブで鍛えた喉を披露された。最後に横川幹事長から、これからも学校・同窓会・指圧協会が三位一体となって荒波を乗り越えていこう!との挨拶があり、厳粛かつ和やかに最後の芸能大会を締められた。

浪越徳治郎生誕百年祭記念交流指圧講習会

準備委員 17期 小林 秋朝



2005年11月3日「浪越徳治郎生誕百年を祝う会」が東京ドームホテル天空の間で国内・国外合わせて570名(海外130名)によって盛大に行われた。

翌4日、5日は、海外から参加された11カ国110名の指圧師と日本指圧専門学校教員、治療部の先生方、3年生A・B・C・D組(120名)、合計230名らによつて指圧の交流と講習会が文京区民センター3階大会議室で行われた。

11月4日9時20分に、青木宏国際部部長の司会によつて開会式が行われた。スピーチに先立ちハワイの因泥文彦先生・イレイン夫人から「レイ」をブレゼン

トされた浪越和民理事長は、「前日の浪越徳治郎生誕百年を祝う会参加のお礼、な

らびに、今回の指圧交流を通して切磋琢磨しながら今後の指圧治療に役立てて

いってほしい」といふ、歓迎の挨拶を述べられた。

次に、石塚寛学校長は「外国から来られた先生方との交流は、学校の教員・学生にとつても幸せなことであり、良い指圧の技術を学んでください」と、歓迎の挨拶をされた。

参加国を代表して、ハワイ愛泉指圧学校、校長因泥文彦先生は、35年前の徳治郎先生との会話で徳治郎先生が「因泥先生、私のお宝は井澤正先生、石垣惟一先生、石塚寛先生などなど大勢の学校の教職員です」と

言われた事を懐古された後、ヨーロッパのお宝は、小野田茂先生をはじめ、ヨーロッパから参加された皆様です。私のお宝は、「私のワイフです。」と、ユーモアを交えて話され、皆様の

研修の成果が将来実ります

よう祈念しますと、挨拶された。

次にイタリアA.P.I.S代表 Roberto Taverna 先生は、「浪越指圧を学んで15年以上経ち、今は亡き恩師浪越

徳治郎先生、徹先生、Rody Palombini 先生(イタリア)、Denis Bion先生(オランダ)に、指圧の技術と心を教えて頂いたことに感謝に堪えません。未来志向を持って共に前進して参りましょう。イタリアでは指

圧が認識され、治療を真剣に求める人たちが増えていきます。これからは、流派の対立を乗り越えて指圧の良

いところを見せなくてはなりません。」と、ヨーロッパ事情を詳しくのべられた。次にイタリア、Gusy Santonagaso 先生のヨーロッパ指圧入会式が行われて開会式が終了した。

10時より実技講習が始まり、指導教員藤田一彦先生は、浪越雄二先生をモデルにして、基本実技 横臥位腹部の順で、イタリア語

期)を加えながら、姿勢・ポイント・圧の程度などの解説をまじえて基本指圧を行った。

次に演者が替わり、指導教員日野紘造先生は、伏臥位の基本実技を前者と同様に解説を加えながら基本指圧を行った。

参加者が大勢のため、全員が実演をそばでしっかりと見ることができないだろうと、主催者側は大型スクリーンを準備しておいた。

参加者たちは、近くと、大型スクリーンとに映し出された姿勢(施術者と受け手)、ポイント、圧の方向、体重の乗せ方、身体と連動した指の動き、リズム、などを真剣な眼差しで熱心に

見入っていた。皆、浪越指圧の真髄、基本技を目の当たりにして大変感動した様子であった。

そして、休む間もなく待望の指圧交流が海外組とベアを組んで開始された。藤田、日野両先生の号令のもと、横臥位 腹部 伏臥位の順序で、交流指圧講習会

午前の部は12時40分終了した。終了と同時にお互いに指圧の素晴らしさを称えあい感動と興奮、握手に笑顔がこぼれた。

その後、全員で参加国の国旗を背景に記念撮影を行い、昼食に用意されたカツサンドは、海外組にもなかなかの好評であった。昼休みを利用して各国持参のTシャツ即売、交換会が始まる。ベアを組んだ同士や、各団体同士汗した肌と肌の触れ合う「技」の交流から国際親善の「心」の交流が会場いっぱい広がった。

午後2時から会場組と別会場の学校組とに分かれて行われた。会場組の指導教員木下誠先生が、腰痛疾患の治療法を永年の豊富な臨床経験を基に外国参加の女性をモデルにして詳しく解説しながらデモンストレーションを行った。その後ベアを組んで木下先生の号令に合わせて各々1時間ずつ熱心に実技研修した。

別会場学校組は、海外の指導教員クラス21名と稲場啓護、鈴木林三、小林秋朝、日野紘造、藤田一彦、浪越雄二、児乃原剛(21期)、山手文雄(23期)、岩井聡(英語、44期)、古谷亮(スペイン語、46期)の諸先生が参加した。指導教員鈴木林三先生は、基本指圧を中心に伏臥位：肩甲間部、肩甲下部、横臥位：前頸部、肩甲間部、肩甲下部を数人にデモンストレーションを

行った。

行い柔らかい圧で深部に達する重心の移動、受け手の体型によつて基本姿勢の膝足の位置を変えての応用操作などを、小野田茂先生の通訳で解説された。ベアを組んだ海外組に諸先生が加わり各部位を熱心に研修した。

両会場とも素晴らしい指圧交流の実を上げて5時に終了した。

5日9時20分開会。

イタリアから参加された各流派の独自の手法が披露され、始めにGaudio Palombini 先生、八尋雄二先生(沖道)、最後にイタリア指圧学校40校を代表して「Gusy Santonagaso 先生のデモンストレーション後、修了書授与式に移り受講された海外参加者に浪越和民理事長から修了書と大会記念のTシャツが贈られた。参加者代表から感謝の記念盾が浪越和民理事長に手渡され、「今回の交流指圧の内容の素晴らしさと浪越和民理事長、学校関係者の皆様から感謝します。」とお礼の挨拶があり、次に浪越理事長閉会の挨拶、全員で指圧のスローガンの後、記念撮影2日間の国際交流指圧講習会が大きな成果を収めて12時40分に無事閉会した。

ワールド・ポニー 海外メンバー訪問日記

サンドロ・アンドリアーニ

現在スペイン・マドリッドで小野田先生の指圧治療院で治療師として働き、また浪越指圧ヨーロッパという団体においてヨーロッパ各国関係維持のお手伝いをさせて頂いております。今回はこの百年祭開催にあたって、その約一カ月前から日本指圧専門学校に伺い、百年祭ならびに四、五日に行われた講習会へのヨーロッパからの参加者受け入れ準備のお手伝いをさせて頂きました。ヨーロッパ内様々な国から百名以上の参加者があつたわけですが、この期間に体験したことは、私自身にとって非常に貴重なものとなり、同時に日本指圧専門学校に命を与え続ける人々を深く知ることが出来、大変有意義な生涯忘れがたい一カ月間となりました。

浪越指圧ヨーロッパ加盟団体として、イタリアからAPIIS(イタリア指圧師プロフェッショナル協会) Roberto Taverna 先生、スイスからスイス浪越式指圧協会会長 Annamarei Frey 先生

ならびに Dario Baranzini 先生、イタリア Uper-Sport 浪越指圧責任者 Gusto Santostaso 先生、ポルトガル Rogério Moty 先生が参加。その他にもオランダ Rob Kleinberg 先生ならびに Sylvia Slaper 先生、イタリア APOS Lorenzo Argolini 先生、イタリア指圧学校 Shatsu-Do Claudio Paoletti 先生、Meiso 指圧の八尋雄二先生などが参加されました。浪越徳治郎先生生誕百年祭という指圧に関係するものにとつてこの上なく重要な機会に、流派を超えた団体の実現を可能にしてくださった浪越和民理事長と浪越指圧ヨーロッパ代表小野田茂先生に心から敬意を表しお礼申し上げます。

今回のように異なる流派が一堂に会するのはヨーロッパの人々にとつて初めてのことでないかと思えます。そして「指圧」という唯一の共通語を通して、今後の流派間の発展や相互理解という過程における道しるべとしての最初の石を置くことが出来たのではないかと感じています。

ヨーロッパから参加させていただいた者は皆、その幸福感と講習会での先生方の教鞭に対する深い感動を胸に各国への帰国の途に就きました。

私自身、この準備期間に指圧に関する人々と接触し日本指圧専門学校の中で生きるうちに、学校のエネルギーが自分の中へ吸い込まれていく感覚を覚えました。そして徳治郎先生の歴史を読み返し、そこでなぜ指圧が機能するのかについて考え始め、徳治郎先生の歴史の中における重要な二点に気がつきました。一つは、指圧は需要、必要性から生まれたこと、本能から生まれたということ。(徳治郎という少年が母親が痛み苦しむのを見て、本能的に手を当てた)、二つ目には意思とその意図するもので結果が変化し得ること。そして意思は目的や決意に通じ、天と地の間に生きているということを認識しつつ、本

能で感じるべき謙虚な心が大切だと言うこと。おそらく徳治郎先生はそのすべてを持っていらしたのでしょう。これから指圧を伝えていく者にとつて、テクニクはもとより、この謙虚さを教えなければならぬのではないかと考えました。そうでなければ指圧は機能しないのではないかと。そして指圧はその人の生き方に反映し、全世界宇宙と連結してつながるのではないかと。

最後にになりましたが、このようなすばらしい機会を与えてくださった日本指圧専門学校浪越和民理事長、石塚寛校長、青木宏国際部長はじめすべての先生方、そして日々ご助言をいただいた浪越雄二先生、事務の方々、学校に関わるすべての方に心からお礼を申し上げます。またローマから各国の架け橋としてご尽力をいただいた Roberto Taverna 先生にこの場をお借りして改めて御礼を申し上げます。

ヨーロッパ指圧協会オランダ支部会長

ロバート・クライネンバーグ

浪越徳治郎先生のご家族の皆さん、浪越指圧の代表の皆さん、こんばんは。

本日、ここに出席し、ヨーロッパ指圧協会オランダ支部新会長として、初め

て皆様にご挨拶申し上げます。これは光栄であります。まず、日本の主催者、浪越和民先生に、この記念すべき時に、自己紹介をする機会を与えてくださり、感謝いたします。わたくしは、ロバート・クライネンバーグと申し、四十一歳です。わたくしは、二〇〇〇年、オランダのバーンにある、ヨーロッパ指圧学院で指圧を始めました。そこで、浪越指圧のすばらしい技術を知ったのです。

オランダに浪越指圧を紹介し、ヨーロッパのこの小国に普及させたのは、デニス・J・ピンクス先生のおかげです。一九七五年に始めたこの仕事を、ピンクス先生亡き後、奥様のシルビア・スタバート夫人が継ぎました。三十年の努力の結果、ピンクス先生の足跡の上に、指圧は確固たる基盤ができたのです。最近、オランダ語の辞書に、指圧が公式の単語として加えられました。指圧がとうとう認められたのです。

シルビア夫人はいろいろ成し遂げてこられました。六ヶ月前に会長職を譲る決断をされました。そのきっかけについては、彼女の声明文に述べられているとお

思います。この気持ちは、本日ここにお集まりの皆さんに分かち合っていていただいていると確信します。したがって、指圧の基盤を推し進め、発見と知識を分かち合っていくましよう。

私たちのオランダ支部は、すべての指圧師に公明に開かれております。新たな技術を導入し、共に学び、オランダの浪越指圧のレベルを高めていきます。まさに、**“共にがんばっていく”**です。

本日ここに集まった私たちが、心を開いて歩んでいきましよう。家族のように団結して、内面を深めましよう。国境でわれわれが隔てられてはいけません。ともに努力して絆を強

イタリア指圧師プロフェッショナル協会

会長 **ロベルト・タベルナ先生挨拶**

浪越徳治郎先生は、一九四〇年二月十一日、日本指圧専門学校を創立されました。

一九九〇年、創立五十周年記念のとき、私は日本に参りました。それから、十五年の年月が過ぎました。その間に、亡くなられた先生方のことを、思い出しま

めましよう。学んだことを分かち合いながら、共通の目的を目指して進んでいきましよう。指圧が世界中に広がるまで、長年の努力がありました。すべては、浪越徳治郎先生の誕生から始まりました。われわれ新世界が、徳治郎先生の遺志を受け継いで、さらに努力していきましよう。オランダから皆さんに、次の世紀に向かつて友好の意を表します。御清聴ありがとうございます。これからの日程で、皆さん一人一人とお話しする機会があるよう願ってやみません。

(二〇〇五年十一月三日 椿山荘の夕食会におけるスピーチ)

浪越徹先生。先生が書かれた本は、毎日、私の仕事に役立つています。私の最初の先生、ル

ディ・パロンビーニ先生は、指圧に対する情熱を教えてくださいました。デニス・J・ピンクス先生は、浪越指圧の精神と技術を、再発見させてくれました。そして、指圧の父、

浪越徳治郎先生は、亡くなられてから五年が過ぎましたが、私たちはいま、先生の生誕百年を祝っています。先生は亡くなられましたが、浪越指圧は常に力強く、前進し続けています。

一九九〇年、学校創立五十周年のときは、ヨーロッパから参加したのは、主にイタリアとオランダでした。今回は、スペイン、スイス、イタリア、オランダ、ポルトガルからの参加者は、四倍に増えました。

イタリアからは、浪越指圧を代表するA・P・I・SとUPITERの他に、A・P・O・S代表ロレンツォ・アルゴリニ先生、指圧道代表クラウディオ・パ

オランダは、シルヴィア・スタパート先生が引退され、新しくロバート・クライネンバーグ先生が会長になりました。シルヴィア先生の三十年間の活動は、オランダのみならず、ヨーロッパの指圧を成長させました。デニス・J・ピンクス先生が学校を創立し、多くの指圧師を養成し、ヨーロッパの学校を中心となっ

皆さんの指圧にける情熱と、これまでの努力の成果に敬意を表します。

サンドロ・アンドリアーニさん、小野田先生の右腕として、浪越指圧ヨーロッパの拡大のため多大の尽力をされ、私たちが大挙して

来日することを可能にしてください。ありがとうございます。

以上は、二〇〇五年十一月三日浪越和民理事長主催の夕食会。於椿山荘における挨拶。

ヨーロッパに正しい指圧を

— 生誕百年祭に参加して

25期 小野田 茂

ヨーロッパ及びアメリカで指圧を習っている外国人、また指圧をプロフェッショナルとしている人達は、日本には二つの指圧の流派がありその二つの流派の指圧がお互いに凌ぎを削っている、と理解しております。

この実態を是非分かってもらおうと、私達ヨーロッパ指圧浪越は浪越徳治郎先生生誕百年祭の大会に一人でもヨーロッパの指圧の同志に参加してもらおうと、日本の旅行を企画しました。

ヨーロッパ及びアメリカで指圧を習っている外国人、また指圧をプロフェッショナルとしている人達は、日本には二つの指圧の流派がありその二つの流派の指圧がお互いに凌ぎを削っている、と理解しております。

この実態を是非分かってもらおうと、私達ヨーロッパ指圧浪越は浪越徳治郎先生生誕百年祭の大会に一人でもヨーロッパの指圧の同志に参加してもらおうと、日本の旅行を企画しました。

知る為には日本に向かつて立ちました。

短い滞在期間でしたが、日本指圧専門学校のスタッフの心温まる、そして計画性を持った進行に、全ての参加者が感動をお土産に自国に帰ることが出来ました。

「浪越指圧ここにあり」との感を強くしました。ともに、浪越の卒業生が地域社会に染み込んだ本場の指圧を全国で黙々と従事している努力が今日の日本の指圧の実態であることを、改めて実感させるものでした。

ハワイ研修に参加して

ハワイ解剖研修を終えて

47期A組 竹下 茜

去る3月16日、22日、ハワイ解剖研修に参加させて頂きました。5泊7日の短い日程の中で、毎日が貴重な体験の連続であり、また忘れられない思い出となりました。

先ず16日はクアキニ二病院でボランテニア指圧を行い、体格も生活も違うハワイの方々を指圧するのは不慣れでしたが好評を頂き、指圧は海外でも通用する事を実感しました。

ることは、今となっては大変なことです。何故ならば初期の先生達の教えを忠実に伝えていたZEN指圧及び正統指圧が今ではほとんどなく、ツボを習うこと、そして押すことが指圧と思いついて生徒に商売をしていく学校がヨーロッパのほとんどの指圧学校の実態だからです。

浪越をもう一度世界に広めようではありませんか。

て、涙したり笑い話になったりと、体力気力、財布の中身と全て消費して、あとに残ったものは思い出のみとなりました。

ハワイ解剖実習での貴重な経験

49期C組 鈴木 啓太

今回のハワイ解剖実習は、本当にかけがえのない経験となりました。

初めてのハワイ、初めての解剖。出発時、未知への期待と同時に、この一年間なんとか解剖学のテストを乗り切ってきた私にとっては、一年生の終わりの時点で実習に参加することへの不安もありました。

断片的だった知識が繋がっていき感じがして、参加して本当に良かったです。帰国までの間、上級生や卒業生、先生方、愛泉指圧学校の皆様と交流する機会に恵まれ、美しいハワイの地で、勉強と遊びの両方で充実した経験ができました。これは関係者の皆様の好意と努力、指圧への熱意に支えられているものだと強く感じました。心から感謝申し上げます。この経験を生かすべく頑張っていきたいと思っておりますし、この実習が長く続いていくことを願っています。

翌日は各自で観光を楽しみ、18・19日は解剖研修。ハワイ大学の熱心な先生方の下、メスを握り人体を解剖すれば正に百聞は一見にしかず。英語に日本語が飛び交う中、骨筋や神経に触れ、発見や再確認の中で得た知識は何物にも代え難いものとなりました。

三日目からは、ハワイ大学での二日間の解剖実習。始まるとすぐに自分の手で解剖をさせていただき、あとは出来る限り多く見て触れてみようという無我夢中でした。



第四十七期 卒業式

平成十七年度第四十七期卒業式が、三月四日午前十時からリーガロイヤルホテル東京にて行われた。開式の辞、君が代斉唱の後、各担任の呼名により卒業生一人一人が壇上上がり、石塚寛校長により、卒業証書と専門士の称号が授与された。続いて、各賞の授与（各賞及び受賞者は別欄に紹介）に移った。

石塚寛校長の式辞、浪越和民理事長の祝辞に続いて、山岡祥宏日本指圧協会理事長、青木宏同窓会会長より祝辞をいただいた。次に祝電披露、来賓紹介の後、在校生代表 浅田秀男氏の送辞、在校生代表 本宮尚雄氏の答辞、千代田美奈さんから卒業記念品の贈呈（除細動器）があり、「指圧讃歌」の合唱、閉会の辞を以って卒業式を終了した。十二時より卒業謝恩パーティーが開催。四十七期校友会会長本宮尚雄氏、石塚校長、浪越理事長の挨拶、田村鉦二先生の乾杯発声となった。

歓談後、三年間の思い出がスクリーンに上映され、歓声があがった。なごり惜しみながら謝恩会は十四時に終了した。

※個人情報保護の観点から、

受賞者一覧はホームページ上では掲載していません。



卒業生代表からのひと言メッセージ

A 山岸 祐子 三歳の双子を幼稚園に入園させると同時に十数年ぶりの学生生活が始まりました。学生、主婦、母親と忙しい毎日でしたが、先生方、同級生、家族らに支えられ、充実した三年間を過ごすことが出来ました。模試や国試でわからない問題に遭遇した時、授業中の先生の話を思い出して解答出来たことも多々ありました。やはり授業

は大事！心のこもったご指導有難うございました。
B 高橋 典子 振り返れば短い、でも思い起こせば長い三年間でした。入学当初、指圧のことを何も知らなかった私は、先生方が教えてくださった全てが新鮮でした。その気持ちは、卒業後も忘れず持ち続けていきたいと思えます。三年間大変お世話になりました。ありがとうございます。

B 本宮 尚雄 数年前には思ってもみなかった数十年ぶりの学生生活。勉学をする事の楽しさを実感した三年間でした。年の差を越えて友人付き

合いをしてくれた仲間達。熱心にご指導いただいた先生方。久し振りに真の充実感を味わうことのできたこの期間は、今となっては、ぼんの一瞬のように思われます。すべての関係者に感謝をこめて、
ジバ、学校生活！
ジバ、仲間達！

C 大坊 典永 学校を卒業すると、そこからは自分次第。在学中に培った技術知識を一〇〇%発揮し、我々「指圧師」の地位向上に貢献したいと思っています。

C 宮地 愛実 「入学前の私より、今の私の方が好き！」
これが卒業を迎える自分を振り返って出てきた率直な言葉です。

例えば、「浪越学園始まって以来の前代未聞の学生」であったであろうこの私が、無事(?)卒業を迎えることができたのは、いつも温かく見守り、支え、導いて下さった先生方や事務の方、励まし合い、共に学んだ仲間の御陰だと、感謝の気持ちで一杯です。
本当にありがとうございます。そして、これからもよろしくお願ひいたします。

D 芦川 洋司 シマッタ！今日は土曜じゃないか。授業があったんだ！
一家団欒を取ってしまった私は、三年間皆勤賞を狙っていた。その夢もあえなくくずれた。

その旨先輩に話した所、皆勤賞も大事だけど、良い指圧師にならなければね」と一言。まったくその通りだ。
良い先輩を持って本当に幸せに思う。
又、授業を通して人の尊さを再認識致しました。
三年間御指導頂いた先輩方、クラスメート、家族、最後までお世話になった高橋先生と新井さん、皆様に感謝致します。

第五十期入学式及び 新入生の抱負



東京の桜が満開になった平成十八年四月一日、茗荷谷の茗溪会館において、日本指圧専門学校第五十期入学式がおこなわれました。

林副校長先生の開式の辞君が代の斉唱の後新入生ひとりひとりが担任の先生より呼名されました。石塚校長先生の式辞では「発心・実行・継続」という、浪越徳治郎先生が生前よく入学式でおっしゃっていた言葉を、この三年間のモットーとして学校生活を送ってく

ださいとお話しされました。浪越和民理事長からは、思いやりの心「母ごころ」を持つた立派な医療人に成長してくださいとお祝いの言葉を述べられました。

来賓の指圧協会理事長山岡祥宏先生による祝辞、同窓会会長青木宏先生の祝辞に続き、在校生三年D組の浅田秀男さんの歓迎の言葉の後、

一年A組の込山哲郎さんの新入生宣誓では、入学にあたっての意気込みを高らかに宣言しました。教職員の紹介に続き全員で校歌を斉唱し、林副校長先生の閉式の辞をもって日本指圧専門学校第五十期入学式は終了しました。

1年A組 大澤 宏 彰
ずっとこういう職業に興味があり、やっと勉強する機会を得たので今は期待でいっぱいです。勉強する内容は体の仕組みのことなど難しいことが多いと思うの



で不安も多少はありますが、全部これからの自分のためになることなのでどんなことでも全力をつくしてやっていきたいと思っています。

学生生活をしていく中で気持ちが大なることもあると思いますが、常にその時々目標をたて、それをクリアしていくことで充実した学生生活を過ごし、ただ勉強をするだけではなく成長していけるようにしていきたいです。そのためには先生方や学校の関係者のご指導、クラスの人達との協力などが必要になると思うのでみなさんよろしくお願ひします。

1年B組 天 川 恵 子
私は以前、整形外科医院に勤めていました。そこで

多くの人が、痛みを抱いて長いこと苦しんでいる姿を見てきました。

私の家族もそうなので、その姿を見ている内に、副作用のないと言われる指圧やマツサージに、だんだん興味を持ち始めるようになりしました。

指圧やマツサージについて考えている内に技の習得と専門的な知識を深め、痛みのメカニズムとその根本的な解決方法を見つけたという、自分なりの課題ができました。

その課題は、仕事をしている時に思う、「少しでも痛みをとり楽にしてあげたい」という気持ちが解決の第一歩だと思っています。その為にも、指圧を一生懸命に学び、先ずは、国家試験に合格できるよう努力したいです。そして、いつか一步一步、自分の課題の答えに近づきたいと思っています。

1年C組 市 川 美知子
私は按摩、指圧、マツサージ師になる為、上京して来ました。こちらの学校で医療現場で通用する知識、技術、心構えを身に付けたと思います。地元から離れ不安もありますが自分の

為、応援してくれる友人、私を信じて送り出してくれた両親の為に頑張ろうと思います。

また、日々の生活では食事や大切にしたいと思えます。豊かな食事は豊かな精神を養い、自ずと指圧にも反映されると考えます。

そして、人との出会いを大切にしたいと思えます。なぜなら、自分を成長させてくれるからです。かつて私がいた職場もこちらの学校同様、幅広い年代の方がいる環境でした。その中で私は、分け隔てなく人と接する事が出来る様になりました。私にとって財産になつていきます。自分の周りにはいる人達を大切に、不安を自信に変えられる強さを持ち、充実した学校生活を送れる様、一日一日を大切に過ごして行きたいと思っています。

1年D組 長谷部 光 一
皆さん初めまして。新入の長谷部と申します。新入とは申しても大分年長の新入生でございます。3年間よろしくお願ひいたします。私事で恐縮ですが私が指圧と出会ったのはかれこれ二十年前でしょうか。事務作業から来る肩や背中凝り

最後は頭に到達。症状がひどく困り果てたところ指圧を進められました。気持ちが良かったのですが一過性のように数時間後には元に戻ってしまいました。

気持ちが良いけど良くならない。どうしてだろう？メンタルな自分が大きく作用しているな、ストレスだ、自分の原因らしきものが分かってきました。技術と人の内面を勉強しよう。日に日に体の不調で悩んでいる人の笑顔が見たいと思う気持ちが強くなり、学校で人の心と技術を学ぶ基礎作りをし、人の健康への手助けが出来ればと思っています。



今日より明日へ 同窓生からの便り

塩野 泰利 34期



私が治療の道に縁を持ったのは、ある一冊の本がきっかけでした。その本には独自の治療技術が公開されており、全く素人の私でしたが、本を見ながら父母・家内に施術をした所三人共に痛みの軽減や身体が軽くなると言います。面白味を覚えた私は素人向けの講習会がある事を知り、参加して実力を付けていきます。よく先生は、「今日習った技術は、家に帰ったら子供に小遣いをやっつてもやらせて貰え」と言っていました。私も約二年間に、延べ約二百五十人、回数としては千回程度の施術を無料



にてさせて頂きました。実践に勝る事は無いと思いません。こうして治療師になる思いが膨み、公的な資格を取得したく指圧学校への受験となった訳です。人体に關して全く無知な私は、質問と指圧の力強い味方を増やし、卒業後に独立開業致しました。無料での施術が功を奏し、順調に患者さんが増え、五年後には売上げが大台に達しました。与えれば与えられる。お釈迦様の教えです。

八年たったの一人言

佐々治 六郎 41期



私が浪越学園に入学したのは平成九年四月の事でした。その頃は不安よりも、未知なものへの憧れや、興味の方が強く、試験の時を除けば毎日が楽しく、懐かしく思い出されます。現在は、自宅での治療と往診をして居ります。

卒業から既に五年を経て、在学中に色々とした疑問や、道場訓の中の「診断即治療」を実践する時の、患者さんの主訴からの不安材料など、沢山ありました。今は、大きな不安は有りません。

私が勉強するということ程、不似合な事は無いと思っておりますが、何故、どうしてと、一生が勉強と今でも思い続けています。

在学中友人の紹介で、御会いた先生との出会いが私の指圧方向を決めるもの

す。
モットーは、嘘をつかず、初心を忘れる事のない様、自戒として名付けたもので、患者の方、一人、一人に対してそうありたいと思つて

います。
今後の指圧の発展と、皆様の発展を祈念申し上げます。
平成十八年一月

開業のススメ

加納 正剛 44期



しました。いろいろなところ話を聞きにも行きました。開業までの私の道のりをヒントにして頂けたら幸いです。

開業する理由は、人それぞれで良いと思います。自分自身の好きな理由で、好きなように始められたら良いと思います。

大義名分が必要な方は、しっかりとした「理念」があると、より相手に伝わると思えます。私は「理念」を掲げるのに、開業してから三年掛かりました。正確には、三年経ったから必要になったんですけど...

とにかく、始めるという事が一番大事なのですが、ただ闇雲に始めると、一年も持たずに閉院となりかねないので、私もヒントを探

それは物凄い失敗談です。「傲慢」を学びました。

そして男も二十五歳になると結婚を意識します。二十歳から付き合っていた相手と意識しました。そして子供を作って家庭を持つと真剣に考え、辛かったですが、今までの自分の在り方を清算して、新しい自分を立ち上げようと思いい立ちました。

その決断と行動がこの指圧の道です。

きつかけは、池袋にある本屋で、専門学校ガイド辞典を一発開いて目に入ったとこに受験しようと思いい立ちました。十二月の出来事でした。(ホントにこれやりました。完全に神頼みです。今では神様ありがとございます。)見事に二次募集は落ちました。この時に願書を取りに行ったら、あの徳治郎先生が事務室で新聞を読んでおられました。この一度しか生で拝見したことはありません。

そして、翌年の二次で合格しました。試験でこんなに苦戦したのは高校受験くらいです。

このときに、私は開業を志して入学金を入金したことを今でも忘れません。なにせ、家庭を持つ事を

決めたわけですから、自分にウソはつけません。コミットしたのです。全てを掛けてこの世界に投じると

私はこの「コミット」、「コミットメント」が開業に一番必要な事柄だと思います。自分自身の「コミットメント」。

自分のやりたいことをやるという信念が一番大事です。なにせ、世界は色々な刺激に満ち溢れています。つい誘惑に負けそうになります。また、うまくいき過ぎても、うまくいき過ぎても、この「コミットメント」が助けてくれます。三年掛けたついでいじゃないですか、全てを掛けるんですから、時間を掛けましょうよ。ちなみに私は三年掛かったかな。「コミットメント」が決まれば、九十九%準備が出来たと言っても言い過ぎではないでしょう。信念を練り上げたのですから。あとは残り1%です。九十九%に長い時間を掛けたのですから、残り1%は簡単です。だって方法なんですから。

では順番に、「立地」「固定費の圧縮」「準備資金」「資金計画」です。これ大事。立地は集客率、圧縮は運転資金に、準備資金は親戚を頼りなさい、資金計

画は経営の設計図&羅針盤院の施設の基準は、市町村によって違いが大きいので注意が必要。

ここで、「準備資金は親戚を頼りなさい」というのが気になると思います。

自分が事業を興すのに、親兄弟、親戚が協力して頂けないというのは、まさに失敗すると思います。なぜなら、一番頼りがいのあるサポーターだからです。こういうことが物凄く大事だと思いい立ちます。

技術に関しては、基本指圧がありますから三年掛けて準備すればよいと思いい立ちます。真剣に修行すれば十分な時間はずです。三年で間に合わなければ、間に合うまで基本を徹底的に修練すればいいです。近道はありません。徹底的な修練です。鈴木三先生ありがとございます。そして「師に学ぶこと」プラス、受付の仕事で人との接し方を学ぶことです。一流の料亭では、下足番を一年やり、一流の方々の顔と名前を覚え、残り物で味を憶えます。応用は学校の外にあり、諸先輩方は頼りになりますよ。アクセスして下さい。次に大事なことを順番に、学校の基礎学習全てが基

本「機能解剖学」「運動生理学」「神経生理学」「栄養学」。そして「好奇心」です。

最後に某セミナーで頂いたお話です。「パレードの法則」と言うのがあります。「八十：二十の法則」ともいいます。八十が人間性で、二十が技術力だと熱弁していました。実際の現場の感じ

でもそうだと思います。ベッドに寝たときに八十%は治療が成功しているのが理想です。ここはさらに向こう側の世界なので、こういう事柄が大事だと言つことを理解していただけたらと思いい立ちます。皆さん頑張ってください。年収一千万円超えますよ。

ハワイ指圧学校研修

24期C組 金子武良

今回、私は日本指圧専門学校、鈴木三先生の計らいで、八月下旬ハワイ愛泉指圧学校因泥先生の所に行ってきました。

日本と同様、気温は高いのですが湿度が少なく、空気がカラッとしていて、空気がカラッとしているのが大変過ごしやすい所だと思いい立ちました。

因泥先生の所では、毎朝6:00~6:30までミーティング、6:30~8:00まで指圧の早朝練習をしているそうです。また、100万円を月収入として得られる指圧師を目標に育成

しているとのこと、大変なことだと思いい立ちます。

二人一組になり、お互いに受け手に対しての体の状態を伝え、押し手への感想・意見を言うことにより、刺激あいながら向上している姿に、

日本指圧専門学校当時の先生方の熱意ある授業風景を思いい立ちます。思いい立ちました。日本の指圧が異



金子武良 前列左

国の地・ハワイにて今後大きく発展することをお祈りいたします。今回ハワイにて研修を受けられた事を心より感謝するとともに、私自身今後一人の指圧師として、後進に伝えたく思いい立ちました。今後、若い人たちが力をつけ、体調不良の患者さんたちが多数快方に向かうことにより、社会の指圧に対する目も変化し、我々の生活の向上も計られる事を希望します。最後になりましたが、鈴木先生に感謝し、今回得られた研修成果を大いに役立てて行きたいと思いい立ちます。

「浪越指圧を求めて」

三十九期 横川 純夫

一、原稿依頼のこと

幹事長に就任間もなくのある日、会報委員会から特別寄稿「浪越指圧の真髓」に原稿をとの話があった。

第一回が鈴木三先生の「基本指圧についての私見」、第二回が稲場哲夫先生の「浪越指圧の真髓」というシリーズである。新任の役員としてのイニシエーションスピーチぐらいに解している、与えられた事は、出来る限り引き受ける努力をしながら、興奮状態から抜け出していない状況で依頼であった。

第三回目に私！、後悔先に立たずなのである。お断りする礼儀も弁えないで受けてしまった。

さて、前二回の大先輩は云うまでもなくこの途の経験技量ともに最高峰の施術者、教育者でもある。その立場であればこそ、真髓を語る有資格者でもあり実力者でもある。真髓とはその道の奥義とある。どう考えてもこの道を極めていない立場の私が奥義とおおこがましい話である。

ではこの立場で何を語ることが出来るのか？やはりこの道を求めている者としての立場でそのレベルでの偽り無い想いを語ることである。それにしても出稿を断らなかつた事が悔やまれる。せめてタイトル変更のお許しを。

二、指圧師を目指すこと。

改めて振り返ると、私の場合、この道を選んだのは厳しい毎日の重労働で疲労困憊してダウン寸前の時、指圧を受けるとすっきり疲れが取れ元気一杯になって度々厳しい仕事に挑戦できた実体験から、受ける立場からやる立場になりたいと考えた事がきっかけであった。：「庄されると(庄せば)生命の泉湧く！」を充分体感でき、その素晴らしさに魅了されての決断であった。

知人や両親が施術者で門前の小僧からプロを目指す人や自身が患って指圧のお陰で健康になった人は、受け手としての良さを充分体験した上での選択であった事であろう。

しかし現在は思いが叶い入学を許され三年間の就学の後、資格も取れ指圧師としての生業を始めようとしても、なかなか収入に結びつかないことが多い。

一般に商取引は売り手と買い手で成り立つ。指圧師の施術は売り手の商品と同じで買い手がないと成り立たない。又商品はサービスの提供ではあっても、一定の質と量が確保され売り手の高い倫理観、聖職意識に裏打ちされたものでなければならぬ。その商品を社会が認めてこそ職業として成り立つわけである。

師、浪越徳治郎先生は生涯を「指圧」を世に出し、高い技術として官民に認めさせ、後進の指導に捧げられたのである。応分の教育を受け先輩の経験を見聞してもなかなか職業人として認められないこの差は並大抵ではない。

三、「指圧」の法的位置付けのこと。
師、浪越徳治郎先生が四年間のあん摩の修行を終えた後、大正十四年三月試験

合格、同年九月室蘭で開業、昭和八年には上京、十五年には「日本指圧学院」の創立と、「一代記」に詳しいが、昭和二十二年GHQ主導の医業改正の際、八年間の猶予期間を設けて療術の分類に有った指圧が原則廃止になる事になった時「指圧はアンマに非ず！」と「東京療術師組合」を結成し副組合長になっていた関係で、「全国アンマ鍼灸連盟」、「日本鍼灸師会」とは対峙、三十年の改正では指圧だけが採用され(法的には従来の療術全体が含まれる意味であった)が「療術仲間からも疎まれるという不幸な成り行きがあったとき。又師自身も「自分の指圧は従来のアンマを含む漢方医療には影響を受けていない」と明言民間療法とは一線を劃す意識がハッキリしていたのだらう。後に芹沢勝介先生、伊澤正先生、佐藤岩次郎先生、増永静人先生等による東洋医学系の解釈とは異なっていると考えるのが妥当のようだ。自分が指圧の創立者であるという自負の表れではないか。

に合格、同年九月室蘭で開業、昭和八年には上京、十五年には「日本指圧学院」の創立と、「一代記」に詳しいが、昭和二十二年GHQ主導の医業改正の際、八年間の猶予期間を設けて療術の分類に有った指圧が原則廃止になる事になった時「指圧はアンマに非ず！」と「東京療術師組合」を結成し副組合長になっていた関係で、「全国アンマ鍼灸連盟」、「日本鍼灸師会」とは対峙、三十年の改正では指圧だけが採用され(法的には従来の療術全体が含まれる意味であった)が「療術仲間からも疎まれるという不幸な成り行きがあったとき。又師自身も「自分の指圧は従来のアンマを含む漢方医療には影響を受けていない」と明言民間療法とは一線を劃す意識がハッキリしていたのだらう。後に芹沢勝介先生、伊澤正先生、佐藤岩次郎先生、増永静人先生等による東洋医学系の解釈とは異なっていると考えるのが妥当のようだ。自分が指圧の創立者であるという自負の表れではないか。

四、施術者側からの疑問
「診断即治療」という。診断、「何が根拠に...」と問えば、「指が出来ればわかる」と答えが返ってくる

る(指圧理論の鈴木三先生)。「指が出来るのはどうやって解る...」にそれも指が出来れば解るといふ。その「根拠!」のために命が懸かる。恐らく、多くの施術者は修練しても指が出来ないのだらう。出来ない内に仕事になり、何の拠りどころも無いまま、一定時間の悪戦苦闘。そこで理由づけに解剖、経絡が出てくる。とほつとして、先ず納得となるのだらう。

仮に指が出来て(錯覚してしまう場合もあるが)診断し庄せば治療になるか? また、「指圧の心:母心」があった。

「母心」とは?母心はどうやって学ばよいのだらう?どうして「父心」は出てこないのか?「母心」を「生み出す力、慈愛、包容力」などに例えれば、「指圧の心」とは「施術者の平素の心掛け」なのか「施術者の心情」なのか「一連の施術行為の象徴表現」なのか?しかし、指圧は施術者と患者が在って初めて成立する世界で、「施術者Aが庄せば患者Bは泉湧く」という相関関係が成り立つのか?このフリーズを公に語つたのは、昭和二十八年、パーマースクールでの講演会の際と伝えられている。尤も昭和十七年三月、「指圧讃歌発表記念講演会」

が催されていることは、この時点で文言になつていたので、概念としては、ずつとさかのぼらねばなるまい

五、本物の指圧師に。
数年前、「カリスマ美容師、料理の達人、...」が話題になりしばらくして殆ど腫ものど解り、甚だしいのは無免許者もいた。手技療法は、もとより人の手で行う治療行為であり宿命的に治療師の個々の技に頼らざるを得ない。行為の結果を理論付けしても結果が出てこない。又技だけではない偽薬効果や病に対する哲学観なども結果にながってしまふ。

カリスマ治療師が(目標ではないが)短期的に持つて離される要素は腫ものにもある。しかし所詮化けの皮が剥けるとすれば根拠の無いものを頼つての仕事は本望ではあるまい。まして公的免許が有るだけで腫ものにも劣る技量で甘んずるわけにも絶対にゆかない。師が偉大で手の届かない存在であるために、偽徳治郎で甘んずる事なく、第二の浪越徳治郎を目指す同志を輩出してゆく事が望まれてならない。

が催されていることは、この時点で文言になつていたので、概念としては、ずつとさかのぼらねばなるまい

名物先生の近況



18期 木下 誠

昭和51年春、18期生として日本指圧学校を卒業し、同年7月から19期生の指圧実技を教えさせていただいて、勤続30年になります。

生徒で1年生の時に、後藤保正先生に解剖学を、2年生の時に、石垣惟一先生に医学史、医事法規、石塚寛先生に解剖学、田村鉦二先生に病理学、小林秋朝先生に指圧実技を教えてくださいました。今でも思い出します。

大変恐縮しました。

神楽坂の『ちゃんこ琴乃富士』に来るたびに、指圧の神陽館の宣伝をして下さいました。ありがたいことと思ひ、徳治郎先生に手合わせしております。

平成7年から筑波大学理療科教員養成施設、平成12年から筑波技術短期大学(現・筑波技術大学)、平成16年から東京医療専門学校鍼灸マツサイジ教員養成科でも、指圧を教えております。それぞれの学校において、自立できる(食べられる)治療師を育てることを使命として頑張っております。

平成15年から、NPO法人・日本指圧協会の理事(学術部副部長)として、協会本部研究会(参加費無料)の講師もしております。どうぞご参加下さい。



二列目中央が木下先生

る全身調整』という本が、医歯薬出版(株)より出版され、指圧の部分を担当させて頂きました。その部分は、昭和51年秋、故浪越徳治郎先生が指圧実技担当の先生方にミーティングをなされ、故浪越徹先生が受け継がれ、その取り決めが基になっていきます。

53歳になり、日本肥満協会が提唱する理想体重より3kgオーバーを、なんとかキープしています。だんだんと、白髪も目立つようになつた、今日この頃です。

同窓会会員の皆様の、ご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

20期 藤田 一彦



昭和51年(1976年)に指圧学校に入学いたしました。

昭和53年4月より浪越指圧本部センターに勤務させて頂いたとき、同年11月より浪越指圧有楽町センターに昭和62年4月に独立するまで勤務させて頂きました。

昭和57年(1982年)4月、第26期生より非常勤講師として指圧実技の指導を行うようになりました。最初に助手としてついて御指導いただいた先生が鈴木林三先生でした。手取り足取りわかりやすく指導していただき、今でもその教えを守り、実技の指導をおこなっています。また鈴木先生は浪越指圧有楽町センターの主任もなさっていて公私共に大変お世話になりました。

緊張したことなど、今でも懐かしい思い出です。私も昭和53年から昭和62年まで勤務し、昭和62年から平成17年まで開業しました。おもいましたことは浪越指圧の基本実技に勝る技術はないということです。

浪越徳治郎先生にはよく実技を教えていただきまして、とくに前頸部と腹部は手をとって教えていただきました。

腹部などは掌圧だけ1時間も練習し、手首が痛くなるほどでしたが、いまになると、この練習のありがたみが、よくわかりました。

これは周りの皆さんのおかげだと感謝しております。これからは、卒業生の皆さんが気軽に学校を訪ねてくださるような、学校づくりを目指していきたいと思ひます。

現在は指圧学校も大変明るく、学生にとつてすこしやさしい雰囲気になってまいりました。放課後も学生が教室や図書室で勉強ができたり、5階の実技室で実技の練習を行なつたりと、大変ひらかれた学校になってきています。

卒業生の皆様、気楽に学校に顔を出してください。卒業生の皆様のますますのご発展をお祈りいたします。



腹部指圧刺激による脊柱の可動性に対する効果

研究発表

日本指圧専門学校
学生

宮地 愛実	青山 敏彦	芦川 洋司
小作 治	奥山 貴秀	美昭
宮島 大	山口 博	瀬戸 秀男
小井川 隆	甲斐 里恵	浅田 正毅
佐藤 広大	松本 修	加藤 豊村
		淳

藤森 一英 山岸 浩二 江澤 優子

共同研究者 衛藤 友親(日本指圧協会会員)
 指導教員 石塚 寛 神田 浩士 渡邊 和雄
 大沢 秀雄(筑波技術大学)
 森 英俊(筑波技術大学)

I、はじめに

昨年度までは、体後面への浪越式基本操作の指圧刺激による、立位体前屈値および脊柱の可動性の変化¹⁾²⁾について報告した。

そこで今年度は、これまでの研究結果を踏まえた上で、体幹前面への指圧刺激による効果について研究する為、腹部への指圧刺激を行い、立位体前屈値および脊柱可動域についての変化を検討したので報告する。

II、実験方法

1、対象

対象は健康男性47名、年齢18〜64歳(平均35.5歳)であった。

なお、被験者には予め実験内容を十分に説明し、同意を得た上で行った。また、実験当日に指圧等の刺激を受けることを避けさせた。

2、実験期間

2005年5月7日〜9月17日

3、実験場所

日本指圧専門学校での指圧実技実習室で行った。

室温は25±1を保った。

4、測定機器(図1)

立位体前屈値は立位体前屈測定器(ヤガミ社製)を用い、筋の柔軟性は筋硬度測定器(アクシム社製 ビーナストロン[®])を用い、脊柱可動域は脊柱測定器(インテックス社製 スパイナルマウス[®])を用いて測定した。

5、データの保存

筋硬度測定器からのデータは、コントロールユニット



図1 スパイナルマウス[®]

トを経由してパーソナルコンピュータ(2611・456、IBM)に転送、保存し、脊柱測定器からのデータは、ベースステー

が基本となっており、その一部の仰臥位鼠径部および腹部に対して、以下の通り施術した。

者が、予め刺激量が同一となるよう調整した上で行った。圧の強さは被検者が快圧と感じる約5kgから15kgで行った。なお、施術は全て通常圧法(漸加、持続、漸減)で行った。

立位体前屈値および脊柱可動域の測定は高さ45cmの台で行い、安静および筋の柔軟性の測定および施術は、床面に敷いた薄いマット上で行った。

7、実験手順

被検者には事前に、実験内容を十分に説明し同意を得ると共に、腰痛など日常的な自覚症状等をアンケート用紙に記入させた。

(1) 施術前脊柱可動域および立位体前屈値測定 (伏臥位)

(2) 安静5分(伏臥位) 無作為に抽出した9例に於いては、この間に施術前筋硬度測定(伏臥)

脊柱測定器で測定するためのマーキングを右脊柱起立筋のC₇とS₃の高さに施し、筋の柔軟性を測定するためのマーキングを左右の志室・腎俞・大腸俞・膈関にそれぞれ施した。筋硬度測定位置を図3に示す。

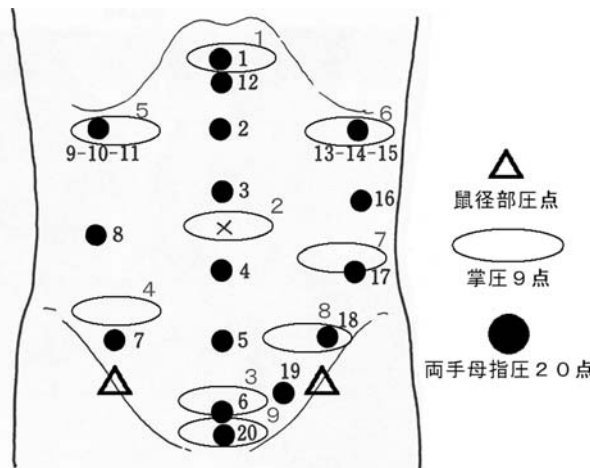


図2 施術部位(文献5より引用)

ションを経由してパーソナルコンピュータ(2655・P3J、IBM)に転送、保存した。

(2) 腹部掌圧9点 (3) 腹部両手母指圧20点 1点圧3秒3通り、鼠径部のみ1点圧5秒3回で行った。 施術は計2名の施術担当



図3 筋硬度測定位置 (文献6より引用)

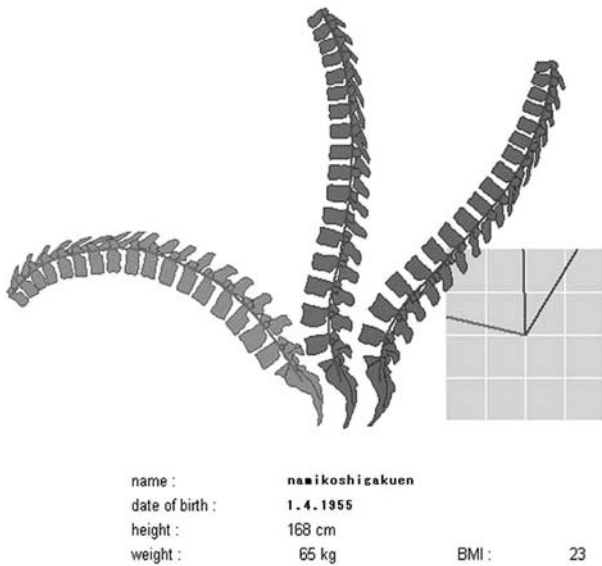


図4 脊柱可動域測定画面

度測定(伏臥)
 (5) 施術後脊柱可動域および立位体前屈値測定
 以上の実験終了後、施術者は筋の緊張や硬結などの状態の変化について記録した。
 なお、被検者15名に対し、上記の手順の中で指圧刺激を加えない無刺激実験を行った。
 8、データ処理
 立位体前屈値・脊柱可動域それぞれについて、施術前後の差をt検定を用いて統計学的に処理した。
 (1) 脊柱の可動性について(図4)
 (2) 筋の硬さについて(図5)
 図はスパイナルマウス®で測定した直立、前屈、後屈の姿勢で、脊柱傾斜角度はS₃を基点とした鉛直方向への直線を基準にして、C₇からS₃を結んだ直線の傾斜角度を、前屈方向をプラス、後屈方向をマイナスで示す。脊柱傾斜角度は、水平を基準にして仙骨を含む各椎体間の傾斜角度を、前屈方向をプラス、後屈方向をマイナスで示す。
 なお、本実験に於いては1°以内の変化値を誤差と捉え、不変値とした。

触覚センサーを最大圧力は硬く、Y軸に近い程、筋が柔らかく、筋の弾性は押し込み圧力の復路と往路の振動周波数の差で示され、差が少なくなるほど弾性が増加する。
 III、結果
 1、立位体前屈値(図6)
 刺激前 2.7 ± 1.3 cm (mean ± SE)、刺激後 4.9 ± 1.2 cmで、有意な改善が認められた($p < 0.01$)。
 改善頻度は47例中36例であり、他は不変1例、改善が10例であった。刺激前測定値から刺激後測定値を引いた前後差の平均は 2.15 ± 0.54 cmであった。

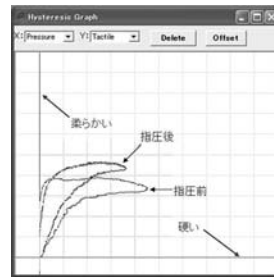


図5 筋硬度測定画面

100gで押し込んだ時の往復の荷重変化および振動周波数変化量を刺激前後で比較した。
 図のX軸は押し込む過程での圧力、Y軸はその時の共振周波数で、グラフの線の傾きがX軸に近いほど筋

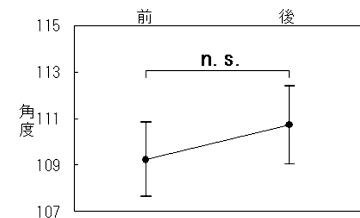


図7 前屈時の脊柱傾斜角度の変化

は硬く、Y軸に近い程、筋が柔らかく、筋の弾性は押し込み圧力の復路と往路の振動周波数の差で示され、差が少なくなるほど弾性が増加する。
 III、結果
 1、立位体前屈値(図6)
 刺激前 2.7 ± 1.3 cm (mean ± SE)、刺激後 4.9 ± 1.2 cmで、有意な改善が認められた($p < 0.01$)。
 改善頻度は47例中36例であり、他は不変1例、改善が10例であった。刺激前測定値から刺激後測定値を引いた前後差の平均は 2.15 ± 0.54 cmであった。

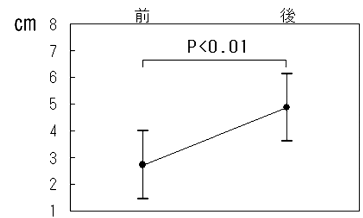


図6 指圧前後の立位体前屈値変化

測定器の誤作動によるデータを除いた結果、刺激前 109.2 ± 1.6 、刺激後 110.7 ± 1.7 で、有意差は認められなかった。その内訳は39例中改善が16例、変化無しが14例、改善がみられなかったのは9例であった。前後差の平均は 1.8 ± 0.9 であった。
 (2) 仙骨傾斜角度(図8)
 刺激前は 61.9 ± 1.8 。刺激後は 65.4 ± 1.9 で、有意な改善が認められた($p < 0.01$)。39例中24例で改善がみられ、8例で変化が無く、7例で改善がみられなかった。前後差の平均は 3.5 ± 0.9 であった。
 3、筋の柔軟性
 筋硬度に関しては左右8点の計測結果を、筋の硬さ「圧力変化、筋の弾性」周

2、前屈時の脊柱可動域
 (1) 脊柱傾斜角度(図7)
 測定器の誤作動によるデータを除いた結果、刺激前 109.2 ± 1.6 、刺激後 110.7 ± 1.7 で、有意差は認められなかった。その内訳は39例中改善が16例、変化無しが14例、改善がみられなかったのは9例であった。前後差の平均は 1.8 ± 0.9 であった。
 (2) 仙骨傾斜角度(図8)
 刺激前は 61.9 ± 1.8 。刺激後は 65.4 ± 1.9 で、有意な改善が認められた($p < 0.01$)。39例中24例で改善がみられ、8例で変化が無く、7例で改善がみられなかった。前後差の平均は 3.5 ± 0.9 であった。
 3、筋の柔軟性
 筋硬度に関しては左右8点の計測結果を、筋の硬さ「圧力変化、筋の弾性」周

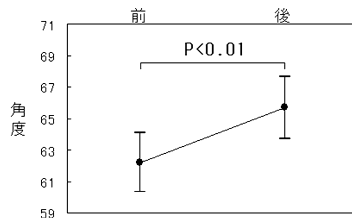


図8 前屈時の仙骨傾斜角度の変化

波数変化の項目で個別に改善率を調べた結果、左志室で、硬さは3例改善(33%)、弾性は3例改善(33%)。右志室で、硬さは5例改善(56%)、弾性は6例改善(67%)。左腎俞で、硬さは3例改善(33%)、弾性は6例改善(67%)。右腎俞で、硬さは7例改善(78%)、弾性は5例改善(78%)であった。
 (2) 仙骨傾斜角度(図8)
 刺激前は 61.9 ± 1.8 。刺激後は 65.4 ± 1.9 で、有意な改善が認められた($p < 0.01$)。39例中24例で改善がみられ、8例で変化が無く、7例で改善がみられなかった。前後差の平均は 3.5 ± 0.9 であった。
 3、筋の柔軟性
 筋硬度に関しては左右8点の計測結果を、筋の硬さ「圧力変化、筋の弾性」周

今回、腹部への指圧刺激によって立位体前屈値が有意に改善した。
 衛藤ら³⁾は背腰部への指圧刺激により、立位体前屈値や同部の筋の柔軟性が改善し、その機序として軸索反射⁴⁾あるいは交感神経抑制による血流増大によって筋血液量が増大した結果、筋の柔軟性の改善が生じたと結論した。田附ら⁵⁾は、体前屈の制限因子となるハムストリングスを含む下肢後面に対して指圧刺激を行い、立位体前屈値や脊柱可動域が改善される事を報告した。
 したがって、背腰部、下肢後面、腹部のいずれの部

筋硬度に関しては左右8点の計測結果を、筋の硬さ「圧力変化、筋の弾性」周

今回、腹部への指圧刺激によって立位体前屈値が有意に改善した。
 衛藤ら³⁾は背腰部への指圧刺激により、立位体前屈値や同部の筋の柔軟性が改善し、その機序として軸索反射⁴⁾あるいは交感神経抑制による血流増大によって筋血液量が増大した結果、筋の柔軟性の改善が生じたと結論した。田附ら⁵⁾は、体前屈の制限因子となるハムストリングスを含む下肢後面に対して指圧刺激を行い、立位体前屈値や脊柱可動域が改善される事を報告した。
 したがって、背腰部、下肢後面、腹部のいずれの部

位への指圧刺激によっても、立位体前屈値が改善された。

今回は、前回までと異なり、体幹前面の腹部を刺激していることから、立位体前屈値改善の原因として、次の様なことが考えられる。

腹直筋は、「第5～7肋骨の肋軟骨前面と剣状突起」と「恥骨稜」を結ぶ筋である⁷⁾。つまり、腹直筋が適度に緊張していれば骨盤は後傾し、股関節を効果的に屈曲させる。しかし、腹直筋が過度に緊張していると、骨盤を過度に後傾させ、股関節の伸展を強要する。そこで、腹直筋の過度の緊張が緩和すれば、仙骨傾斜角度が改善され、股関節の可動性が改善し、立位体前屈値改善の結果をもたらすと考えられる。これに加え、腹直筋の上方の付着部である肋軟骨への影響として、胸郭の挙上・胸椎の可動性の変化も考えられるので、今後の課題としたい。

衛藤ら³⁾、田附ら⁴⁾の報告では指圧刺激部位の筋の硬さを測定したが、今回の測定部位は刺激部位の腹部に加えて、刺激部位とは離れた背腰部の筋の硬さを測定することを当初、計画したが、筋硬度計ピーナスト

ロン[®]および測定部位の性質、その関係性から、正しい測定結果を導き出すことが困難であると判断し、背部のみの測定とした。その理由として、

(1) 先端が半球形をしたセンサーと言え、腹部に押し込むことで、筋性防御の発生が充分に考えられる。

(2) ピーナストロン[®]の測定センサーの押し込み量では、特に脂肪が厚い腹部においては腹筋の深度まで達する事が出来ないと予想される。

(3) 呼吸による位置変動が激しく、測定機器を安定させづらい。

今後、測定方法を再度検討し、腹部の筋の硬さを正確に測定することで、今回の実験結果の裏付けを行うことではないかと考える。

今回の実験結果は、筋緊張を伴う腰痛で、かつ仰臥からの体位変換が困難な症例に於いて、腹部への指圧刺激が有効である事を示唆する成績であると考えられる。

V、結語

成人男性47名を対象とした今回の実験で以下のごとくが明らかになった。

腹部および鼠径部への浪越式指圧刺激によって、立位体前屈を指標とする脊柱の可動性は、有意に改善した。

稿を終えるにあたり、本実験に協力して頂いた本校学生および教職員諸氏に心より感謝の意を表す。

参考文献

- 1) 浦原秀明他：末梢循環に及ぼす指圧刺激の効果、東洋療法学校協会学会誌24号：51・56、2000
- 2) 浅井宗一他：指圧刺激による筋の柔軟性に対する効果、東洋療法学校協会学会誌25号：125・129、2001
- 3) 衛藤友親他：指圧刺激による筋の柔軟性に対する効果(第3報)、東洋療法学校協会学会誌27号：97・100、2003
- 4) 田附正光他：指圧刺激による脊柱の可動性及び筋の硬さに対する効果、東洋療法学校協会学会誌28号：29・32、2004
- 5) 浪越 徹：完全図解指圧療法普及版、日貿出版社、東京、1992
- 6) 東洋療法学校協会編：経絡総六概論、医道の日本社、神奈川、1992
- 7) Glen W. Thompson, R.T. Foyd 著、中村千秋・竹内真希翻訳：身体運動の機能解剖、218・221、医道の日本社、神奈川、1997
- 8) Sato A, Sato Y, Schmidt RF: The impact of somatosensory input on autonomic functions. Reviews of Physiology Biochemistry and Pharmacology, 130 : 1-328, 1997

寄付金賛助者ご芳名

同窓会会員の皆様から 寄付金を頂戴いたしました。

平成十七年度 三七六件
一、二〇四、〇〇〇円

御芳名掲載をもって御礼と領収の証とさせていただきます。○数字卒業期（敬称略、順不同）

- ☆五万円
⑩佐藤喜久子
- ☆四万八千円
⑨勝尾圭三②荒川シヅ
- ☆貳万円
⑩井上征夫
- ☆壹万八千円
⑩後藤半一②小野勝一
- ☆壹万六千円
⑩伊尾 栄
- ☆壹万五千円
⑩横川純夫
- ☆壹万四千円
⑩内村貴仁
- ☆壹万参千円
⑩花垣浩美
- ☆壹万壹千円
⑩岡本五郎
- ☆壹万円
⑩室岡和廣⑩畑中糸美②平高利文③柴田芳市④田附正光⑤池永卓雄⑥浪越満都子⑥小倉義夫⑥稲場豊⑧西嶋操⑥菊川一也④福島達雄②窪田ミツ子⑩小山福松②

- ④江口時弘⑥下野貴美子④菅野不二②浜谷恵美子⑤中山圭子⑦石塚怜子④高山益太郎③上野力信⑦山崎克巳
- ☆六千円
③森岡忠司
- ☆五千円
①小林義孝⑤湯浅キヨ⑨青木宏④石原博司⑨四條静江⑨鳥山久子⑥笹木喜太郎②遠藤ミツ⑨後藤和江⑨日野絃造①須田麻紗子⑦小林秋朝③莊司桂子⑨船津昌亮⑧赤澤えい⑥石垣惟一⑤和田常男⑦巖田佳男⑩石川明子⑩柳澤光男⑦高橋弘安⑤小倉秀夫⑥國田イト子⑩丸山眞一③櫻井康雅②西村れい子④村越てい子⑧木下誠⑦川原善次郎④田澤千代子④田澤保幸

- ②皿井千代子⑥上村道子⑧武田紀行⑦小嶋忠雄⑬高橋宏③宇佐美康夫⑧初又紀子⑦上田桂三⑤飯塚敏雄⑤中山節②前田秀隆⑧中島祥景③間田十喜子⑤横田富康③広明文夫③山田紀美子②鳩宿昭男⑥加園政夫③福井素子⑦喜多村葛枝③遠藤久孝③立野忠義②前田英男④中野敏夫⑦鈴木篤⑩小出忠志③伊藤美智子②黒澤信男③栗村輝子③浅野籍安②相野谷眞②相澤寛和④有田純夫⑦釘崎幸義②平子清⑤中島喜一⑤関伊智朗⑦斎藤良知②天野芳子②角政安⑦高野文⑩高野正之⑦内城勇造②関根康博⑤飯島治雄⑥笠原正親②梅津秀之助③藤田和子②藤田一彦③佐藤三子②石川喜美子①原田ユキ子①大日方子西③海坂治③馬場正義②村井美枝子⑧田浦資斌②武藤圭子③池田知以子①増田清一④広川良昭⑧井芹幸夫⑤井谷裕行③大西正悦⑩大滝勝雄③山越健司④小宮大介④五十川直孝④松本淳①佐藤脩④藤沼しず子③板谷智⑥松嶋丈介④西海泰子⑤中村一子⑤中村清子②沢畑碩亮④大沼えみ子④田沢佳世子⑧原忠雄⑧片山晶子③須賀国夫④法師人八江子⑥原田隆弘③山下泰治②松本輝男③田端哲郎①眞間時男①小松崎義雄②小松崎ツネ③齊藤鉄夫⑧仁科義介

- ☆貳千円
③阿部聡⑤糸井圭好⑦糸井正子②鈴木好雄③古島昇夫⑩飯島幸雄④了戒正人③岡田主③万城由美子④三村公明②高木二郎④塚田邦広④大場裕之②池田玉江⑦瀬戸玲子④岡崎京子⑨石塚トヨ④山川友枝⑨天海誠⑦平井浩子⑦井井伸徳⑤金子きん⑤北条崇成①細谷節子④山崎加代子④工藤美枝③安藤富士男⑦大谷信子⑨山田さん②高田とし子④菊田純一⑤高澤佐恵子⑤船田弘子②一山阿砂実③山本芳枝③橋口裕亮④伊澤正晃②服部清香④松本勝美③品川康弘⑨渡辺光枝④高橋福見②米倉裕子②新島政志③六田敏子②平石富三③若下禎夫④衛藤友親④三田利幸③根岸正行②宮脇利博④小原裕和④古川旦昇

- ☆壹千円
④山口直孝④永山琵琶奈子④中田健二①村松カチ子⑤松口一英②本間久美子②笠井君子⑤大貫久美子⑨森尻英子⑨竹之内怜子⑥石原和信①小坂八郎⑦萩原嘉寿代④中塩千穂子②久保山百合子②小美濃隆②小松千加弘⑤工藤文宏③齊坂京子④鈴木喜也②松本一雄③橋詰兼一⑦川村達伸⑤西迫大作④若杉守⑦矢部暢大④川端隆治⑦木下裕司③石田光吉③伊地知啓介③平野キミイ④新田淑子③内田富久④山中武②矢野久生②関智四郎④入江徹⑥竹村ナミ子②新井兼丸②伊藤義昭⑦延沢好子②平澤紫郎④小松和幸④鈴木孝二⑩三好英子②玉川隆②山坂良子⑥佐藤美二⑧長山昌央③高野賀史④川村泰司⑤川村美都子④篠原よ志子④高亀義雄③中島好重希⑧中島準蔵④大城裕子⑥藤原モト③田中真司②渡辺静江③田中利⑤山崎陟⑦山本忠②福田ゆきり⑩野村正夫③高橋耕作⑦内山直行⑦内山和子④小沢憲治②三津石⑤水上和好⑦今野晴仁④賀来豊文④虎谷英平⑨新村忠志④黒田佳男⑦大石たまた子②三浦道代⑤西森健一⑦伊藤衛③下倉義正⑦上野欣二③本間陽一③下田政一②野口雅子③尾崎正美②木内行雄②安倍和夫②下田文子①高橋昌子⑧阿部はるみ③西井一志⑤田島公代⑨比留間民子⑦戸来みや子⑤大久保昭男③吉野順一②塚本浩子④鈴木喜美子②浪越淳⑨五味美那子③金子恵哉④川村武⑦小松せつ子④野野直美④本間博⑨佐藤一雄②安部八郎②富田芳平⑦川畑文恵子③鶴田弘二①下田久子③天野幸好④井上素美②小川久②森田昭代④高柳茂男⑥今井美奈⑤前田孝男④山崎規子③木村龍一郎④安久津浩③小峰敏美④眞船智子⑧磯菊子②吉田靖子③本持英児③吉村哲③小野絃緑④岡本草苑子⑦藤巻とく④岡野昭⑧勝沼善夫⑤数井智治③三浦たまよ②増田敏郎②関森昭直④金井俊潔⑧中村フミ子⑤原野重樹①坂本明子③平尾清一②小原俊政③末永洋子④石井勝雄③桑原浩子④庄司文晃⑤小野寺よし子③石田美佐子⑤山田三義①藤井宣政①井上善弘①阿部サト⑧長嶋昌子③福安志

- ③小泉鐵夫⑩池田純一①植松園枝①石原雪江②伊大和武③小玉誠⑤宮島恵美子⑥中村由子⑤古屋誠

編集後記

皆様はじめまして。私、今年度から初めて同窓会報紙の編集に携わらせて頂きます金子と申します。

伝通院の指塚の桜も散り始め、緑が芽を吹き始めて穏やかな春を迎えようとしています。皆様はいかがお過ごしでしょうか。日本指圧専門学校では今年度百十七名の新生活をお迎えしました。彼らは節目の第五十期生になります。期待に胸を膨らませて元気に挨拶をしてくる学生達に心引き締まる思いです。三年間共に成長して行きたいと思っております。今回の同窓会報は第二十七号になります。昨年は浪越徳治郎先生生誕百年を祝う会が盛大に開催され、その海外メンバー訪日記も掲載されています。また、新役員の紹介、浪越徳治郎杯争奪芸能グランドチャンピオン大会の記事、等盛りだくさんの内容になっています。楽しくお読み頂けたらと思います。（智

平成18年度 通常総会・懇親会

- 一、と き：平成18年6月11日(日)10時
- 二、と ころ：茗溪会館2階 文京区大塚1-5-23 電話03-3943-0321
交 通：地下鉄丸ノ内線 茗荷谷駅下車 2分/JR池袋駅より車 5分
- 三、内 容：・総会(10:00~10:50)
活動報告、会計報告、監査報告、活動計画、予算案
・記念講演(11:00~12:20)
「医療類似行為に関する最高裁判決から考える、指圧業界の今後の対応」
講 師 厚労省技官(国立リハビリセンター医療教育部教官) 芦野 純夫先生
・懇親会(12:20~14:30)
- 四、懇親会費：8,000円(当日納金も可)
- 五、申 込：同封の郵便為替用紙で懇親会費を前納していただきますと、受け付け事務の混乱が防げますのでご協力をお願い致します。

日本指圧専門学校同窓会

自 平成17年4月1日
至 平成18年3月31日

決算書・予算案

貸借対照表

収 入 の 部			
	17年度予算	17年度決算	18年度予算案
前年度より繰越	11,718,859	11,718,859	12,729,829
入 会 金	1,860,000	1,770,000	1,755,000
運 営 費	1,700,000	1,302,000	1,500,000
総 会 費	1,500,000	1,010,000	1,300,000
芸能大会会費	250,000	206,100	0
預 金 利 息	250	267	250
そ の 他 収 入	0	36,000	30,000
記念事業引当金戻入	1,000,000	0	0
寄 付 金	0	1,251,000	1,000,000
収 入 合 計	18,029,109	17,294,226	18,315,079
支 出 の 部			
	17年度予算	17年度決算	18年度予算案
総 会 費	1,500,000	1,260,171	1,500,000
芸能大会会費	300,000	256,721	0
講 習 会 費	0	0	500,000
会 報 発 行 費	1,500,000	1,281,382	1,500,000
通 信 費	250,000	170,915	250,000
印 刷 費	100,000	0	100,000
渉 外 費	200,000	260,000	300,000
交 通 費	300,000	219,400	300,000
慶 弔 見 舞 金	100,000	26,373	100,000
事 務 用 品 費	30,000	11,812	30,000
雑 費	50,000	8,168	50,000
情 報 管 理 費	50,000	0	50,000
備 品 費	50,000	0	50,000
役 員 会 議 費	50,000	5,000	50,000
設 備 使 用 料	50,000	36,000	50,000
予 備 費	100,000	47,455	500,000
記念事業引当金繰入	800,000	800,000	800,000
記 念 事 業 費	1,000,000	181,000	0
支 出 合 計	6,430,000	4,564,397	6,130,000
次 年 度 繰 越	11,599,109	12,729,829	12,185,079

資 産 の 部		負債及び正味資産の部	
現 金	42,942	新規事業引受金	1,680,000
東京三菱普通口	4,181,527	余 剰 金	12,729,829
振 込 み 口 座	185,360		
郵 便 貯 金 口	10,000,000		
合 計	14,409,829	合 計	14,409,829

損益計算書

収 入 の 部		
	17年度実績	内 訳
前年度繰越	11,718,859	
入 会 金	1,770,000	49期15,000円×118名
運 営 費	1,302,000	2,000円×651名
総 会 費	1,010,000	106名 御祝儀 162,000円
芸能大会会費	206,100	41名 117,000円 御祝儀 40,000円
寄 付 金	1,251,000	382名分
預 金 利 息	267	預貯金利子
記念事業引当金戻入	0	
そ の 他 収 入	36,000	名簿売上金
収 入 の 部 合 計	17,294,226	
支 出 の 部		
	17年度実績	内 訳
総 会 費	1,260,171	茗溪会館 1,140,250円 他
芸 能 大 会	256,721	茗溪会館 246,461円 他
会 報 発 行 費	1,281,382	会報26号 (株)旭出版 他
通 信 費	170,915	小石川郵便局 他 郵送料、八ガキ代
印 刷 費	0	
渉 外 費	260,000	指圧協会 母校祝い金等
交 通 費	219,400	第1回、第2回運営委員会交通費 他
慶 弔 見 舞 金	26,373	指聖供養 生花 田村氏 山手氏 弔電他
事 務 用 品	11,812	今井文具店 他
雑 費	8,168	委員会お茶代
情 報 管 理 費	0	
備 品 費	0	
役 員 会 議 費	5,000	中板橋商店会館
設 備 使 用 料	36,000	母校
予 備 費	47,455	第1回実技講習会
記念事業引当金繰入	800,000	平成18年度より新規事業引当金繰入に名称変更
記 念 事 業 費	181,000	生誕100年祭 スタンド生花、アトラクション参加費用
支 出 の 部 合 計	4,564,397	
次 年 度 繰 越	12,729,829	

平成 18年 3月 31日
日本指圧専門学校同窓会
会 長 青 木 宏 印
会 計 高 橋 雄 輔 印
監 査 荷 田 冴 子 印
柴 田 芳 市 印
田 澤 千 代 子 印